

札幌市

札幌市における地域移行の取組み

札幌市では、精神障がい者地域生活移行支援事業として、ピアサポーターを活用した精神科病院への訪問活動を展開しているほか、自立支援協議会におけるワーキンググループのひとつとして、平成27年度に「精神障がい者地域生活移行推進プロジェクト」を立ち上げ、医療と福祉の連携強化や情報共有等による支援体制の整備を図っています。

1 札幌市の基礎情報

札幌市



取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・医療と福祉の連携研修会（H28.2 北海道との共催）

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・札幌市精神障がい者地域生活移行推進事業（H20～）
ピアサポーター支援、育成業務（H25～26）
ピアサポーター活用業務（H27～）
- ・精神障がい者地域生活移行推進プロジェクト（H27～）

基本情報

圏域数	1 力所
人口（H28年4月1日）	1, 941, 127人
精神科病院の数（H28年4月）	38病院
精神科病床数（H28年4月）	7, 156床
入院精神障害者数 （H26年6月末）	3か月未満：1, 306人 （20. 0%）
	3か月以上1年未満：1, 077人 （16. 6%）
	1年以上：4, 125人 （63. 4%）
退院率（H26年6月末）	入院後3か月時点：62%
	入院後1年時点：89%
相談支援事業所数 （H28年4月）	一般相談事業所数：57
	特定相談事業所数：90
障害福祉サービスの利用状況 （H27年度実績）	地域移行支援サービス：8人
	地域定着支援サービス：13人
保健所（H28年4月）	1 力所
（自立支援）協議会 （H28年4月）	（人材育成について議論）：研修チーム （活動頻度）：5～6回／年
	（精神障害者の地域移行について議論）： 精神障がい者地域生活移行推進PJ （活動頻度）：4～5回／年
精神保健福祉審議会	2回／年、委員数14人

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

1 札幌市精神障がい者地域生活移行支援事業

札幌市基幹相談支援センターに「ピアサポーター活用業務」として業務委託している。

【業務の内容】

- (1) ピアサポート活動を利用した対象者本人に対する支援
 - ア 精神科病院で行われる茶話会等への参加やミーティング（話し合い）などの交流会の実施。
 - イ アの他、対象者の退院に向けた意欲の向上や不安の軽減に効果的な催し物等の企画、それに伴う関係機関との調整等。
- (2) 病院スタッフの地域移行に関する理解の促進
 - ア 精神科病院関係者（ソーシャルワーカー、医師、看護師等）へ地域移行支援に関する情報の提供及び共有。
 - イ 障がい福祉サービス（法定給付）の利用につながるまでの、具体的な支援可能な範囲、方法等の助言。
 - ウ 精神科病院で開催される医療保護入院者退院支援委員会等への参加（病院からの要請があれば参加（ピアサポーター含む）もしくは市内相談支援事業所等の紹介）

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

- (3) ピアサポート活動を行うピアサポーターに対する相談支援専門員による支援
例) ・ピアサポーターの成長段階に応じた助言
・活動内容等について検証、考察等をピアサポーターとともにを行い、以降の訪問活動に反映
- (4) ピアサポーターの役割・活動内容等についての広範的な周知、案内、関係機関等への対応。

2 札幌市精神障がい者地域生活移行推進プロジェクト

- (1) 経緯
H27年度に北海道との共催で開催した「医療と福祉の連携研修会」において、医療と福祉分野の連携強化の重要性が再確認されたことから、当該研修会に参加した7医療機関、4相談支援事業所、精神保健福祉センターを構成員として、札幌市自立支援協議会における作業部会の位置づけで設立。
- (2) 協議内容等
地域移行の推進にあたり医療と福祉の必要性は共通理解がなされているが、PJの役割、目指すべきところについては検討を始めたばかりであり、メンバー間による医療と福祉の情報交換、互いを理解した上での課題への取組みを進めていく予定。

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

札幌市精神障がい者地域生活移行支援事業

（H20～24年度）「地域体制整備コーディネーター業務」

相談支援事業所に配置する自立支援員（地域移行推進員、地域体制整備コーディネーター）が精神科病院や地域の社会資源等と連携を図り、長期入院者が自立生活を営むための支援、ピアサポーター研修を実施。

（H25～26年度）「ピアサポーター育成業務」「ピアサポーター支援業務」

相談支援事業所に所属するピアサポーターの育成及び活動の側面的な支援業務として実施。（育成業務：公益財団法人1か所、支援業務：相談支援事業所4か所への委託）

- 例）・ピアサポーターがその活動に必要な知識等を継続して習得できる環境を整えるとともに、その意欲の向上を図る
- ・ピアサポート活動に必要な情報、技術についての講習、講座

（H27年度～）「ピアサポーター活用業務」

基幹相談支援センターの相談支援専門員とピアサポーターによる精神科病院への訪問活動等。（基幹相談支援センターへの委託）

4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

1. 精神障がい者の地域生活を支える社会資源が比較的豊富である。
(医療機関、障がい福祉サービス事業所、相談支援事業所、訪問看護事業所等)

課題

1. 相談支援事業所は計画相談に忙殺され、地域移行、地域定着支援まで手がまわらない傾向が強い。
2. 精神科病院間で入院患者の地域移行に対するモチベーションや制度の理解に差がある。

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

1. 既存の取組み（地域生活移行支援事業、地域生活移行推進PJ）を継続し、より地域移行支援に資するものにしていく。

次期(月)	実施内容	担当
通年	地域生活移行支援事業による精神科病院への訪問	基幹相談支援センター
9.16(金)	平成28年度第2回地域生活移行推進PJ (本会議出席報告、今後の具体的な取り組み等について)	基幹相談支援センター 障がい福祉課
未定	平成28年度第3、4回地域生活移行推進PJ	基幹相談支援センター 障がい福祉課

